

平成29年3月期 決算説明資料

平成29年5月8日

平成29年3月期 決算概要

平成29年3月期決算の総括

当社を取り巻く事業環境は、設備投資は全体として持ち直しの動きに足踏みがみられるものの、熱源設備（吸収冷温水機・ボイラ）の需要は横這いから、やや微増で推移いたしました。

受注高は、前期比5億11百万円増加の178億67百万円、売上高は、前期比10億77百万円増加の178億40百万円となりました。

利益面では、営業利益は、機器に付帯工事付の大型物件があったこと並びにメンテナンス工事が増加したこと等により、前期比3億55百万円好転の7億67百万円、経常利益は、前期比2億85百万円好転の7億73百万円となりました。当期純利益は、特別利益として中国での合併事業解消に伴う関係会社出資金売却益2億38百万円並びにそれに伴う為替差益93百万円を計上したことにより、前期比7億76百万円好転の9億15百万円となりました。

平成29年3月期損益計算書

単位:百万円

	前期	当期	前年比	備考
売上高	16,762	17,840	106%	
売上総利益	4,122	4,730	115%	
販売費及び一般管理費	3,710	3,962	107%	
営業利益	412	767	186%	
営業外収益	98	23	24%	
営業外費用	22	18	80%	
経常利益	487	773	159%	
税引前当期純利益	366	1,105	302%	
法人税等	226	189	84%	
当期純利益	139	915	658%	

平成29年3月期貸借対照表（資産の部）

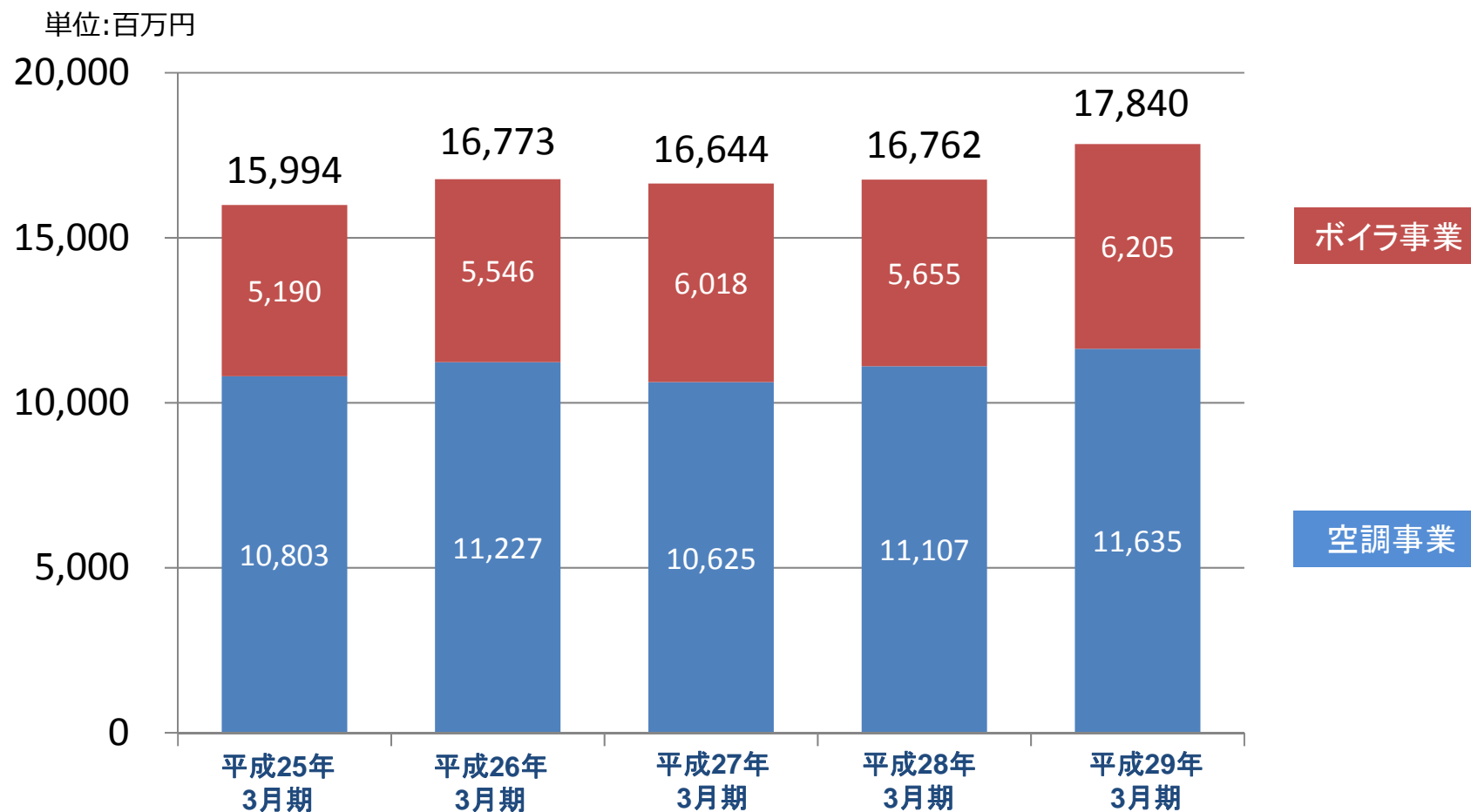
単位:百万円

	前期	当期	備考
流動資産	8,525	10,594	
現金及び預金	6	5	
受取手形・売掛金・電子記録債権	6,384	6,346	
棚卸資産	1,688	1,811	
繰延税金資産	299	283	
短期貸付金	102	2,114	
その他流動資産	43	32	
固定資産	4,025	3,465	
有形固定資産	2,121	2,148	
無形固定資産	274	251	
繰延税金資産	780	847	
投資その他の資産	848	218	
資産合計	12,550	14,059	

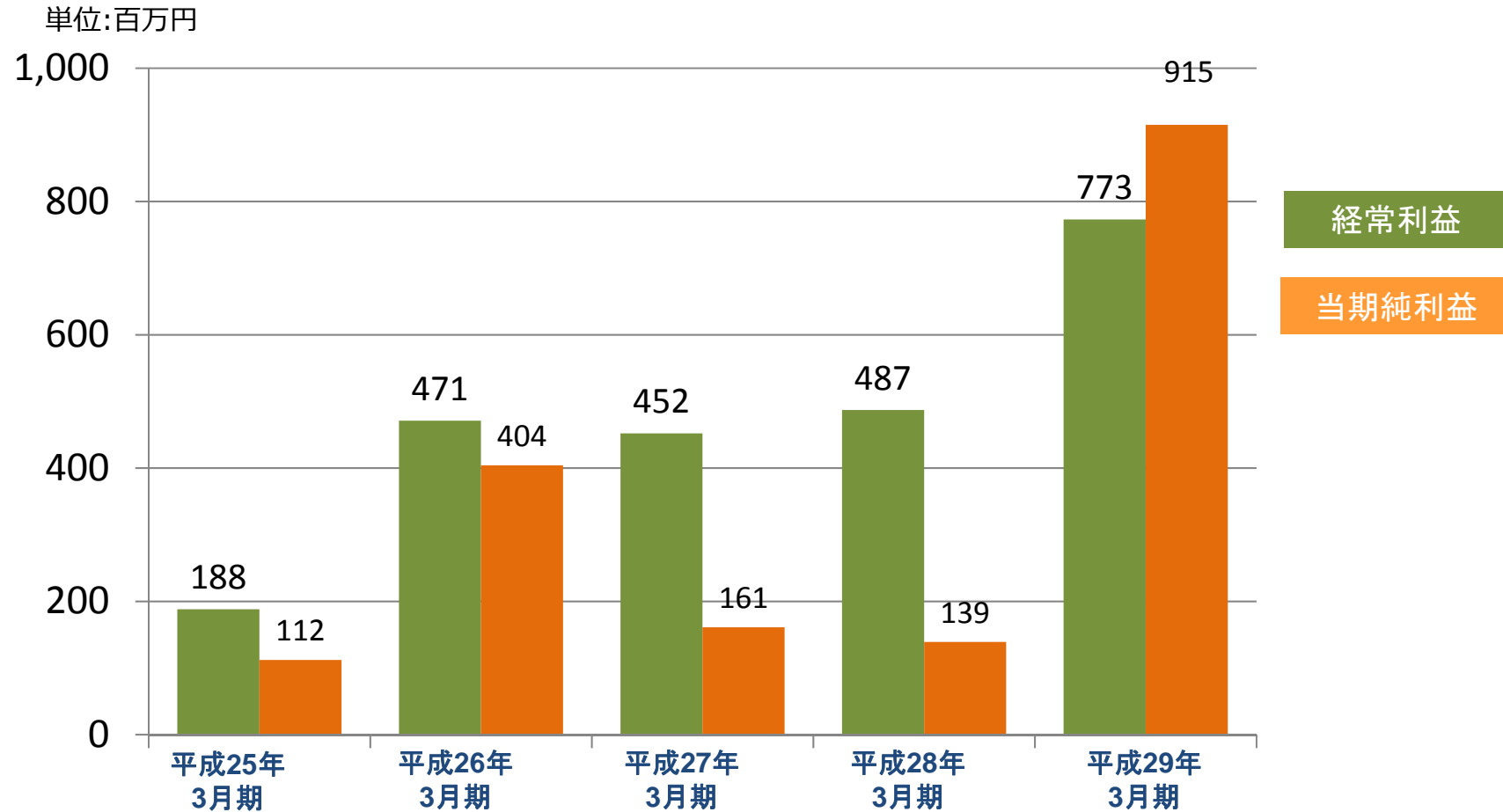
平成29年3月期貸借対照表（負債・純資産の部）

	前期	当期	備考
	単位:百万円		
流動負債	5,704	6,209	
支払手形・買掛金・電子記録債務	3,721	4,100	
未払法人税等	154	200	
その他流動負債	1,828	1,907	
固定負債	2,523	2,707	
退職給付引当金	2,477	2,678	
その他固定負債	45	28	
負債合計	8,228	8,916	
資本金	1,460	1,460	
資本剰余金	1,228	1,228	
利益剰余金	1,635	2,450	
自己株式	△22	△23	
株式等評価差額	20	27	
純資産合計	4,322	5,143	
負債・純資産合計	12,550	14,059	

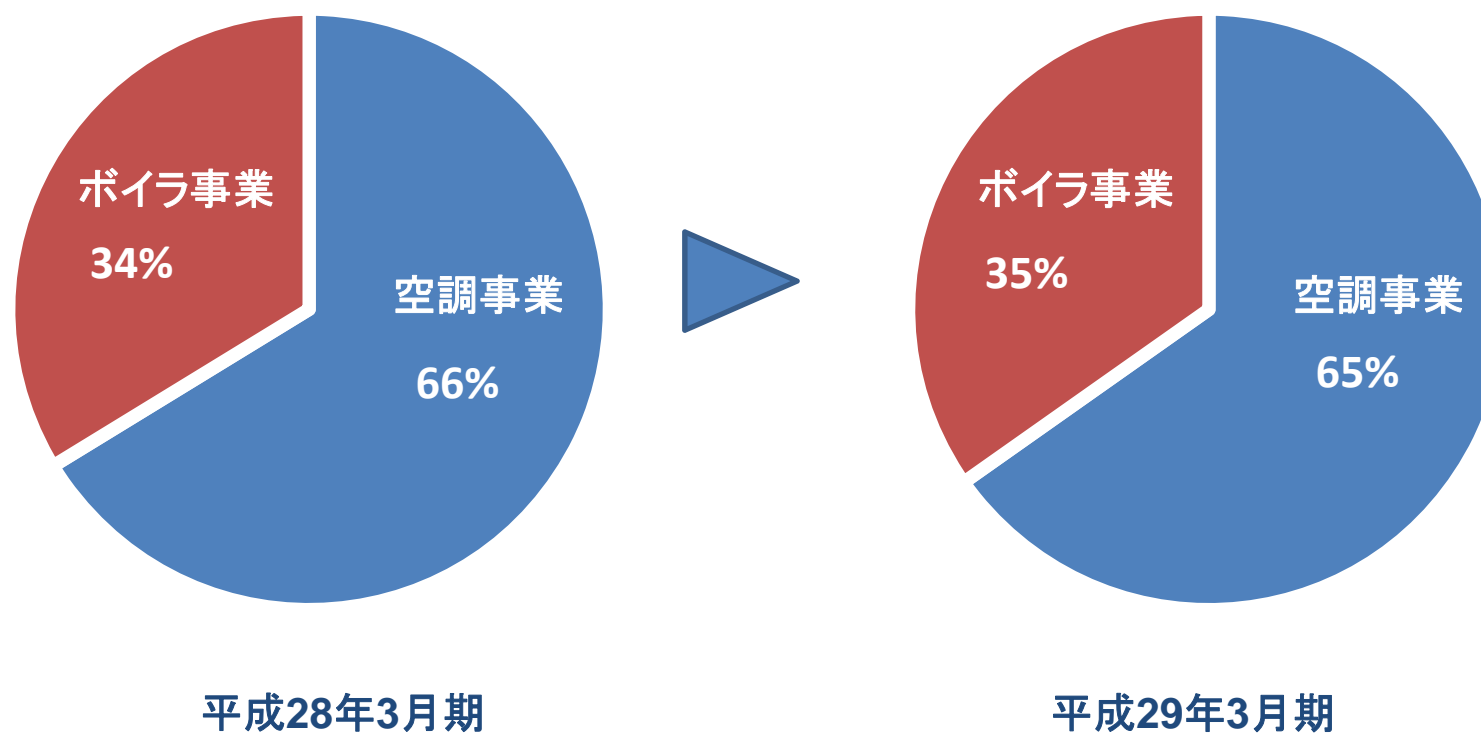
売上高の推移



利益の推移



売上高構成比の比較



事業区分別分析

空調事業

<受注高>

メンテナンス工事の受注が好調に推移したものの、競争が激化している吸収冷温水機のシェアが伸び悩んだこと等により前期を下回りました。

<売上高>

吸収冷温水機の付帯工事付物件並びにメンテナンス工事の増加により、前期を上回りました。

ボイラ事業

<受注高>

貫流ボイラ機器並びにメンテナンス工事の受注が好調に推移したことにより、前期を上回りました。

<売上高>

メンテナンス工事の増加により、前期を上回りました。

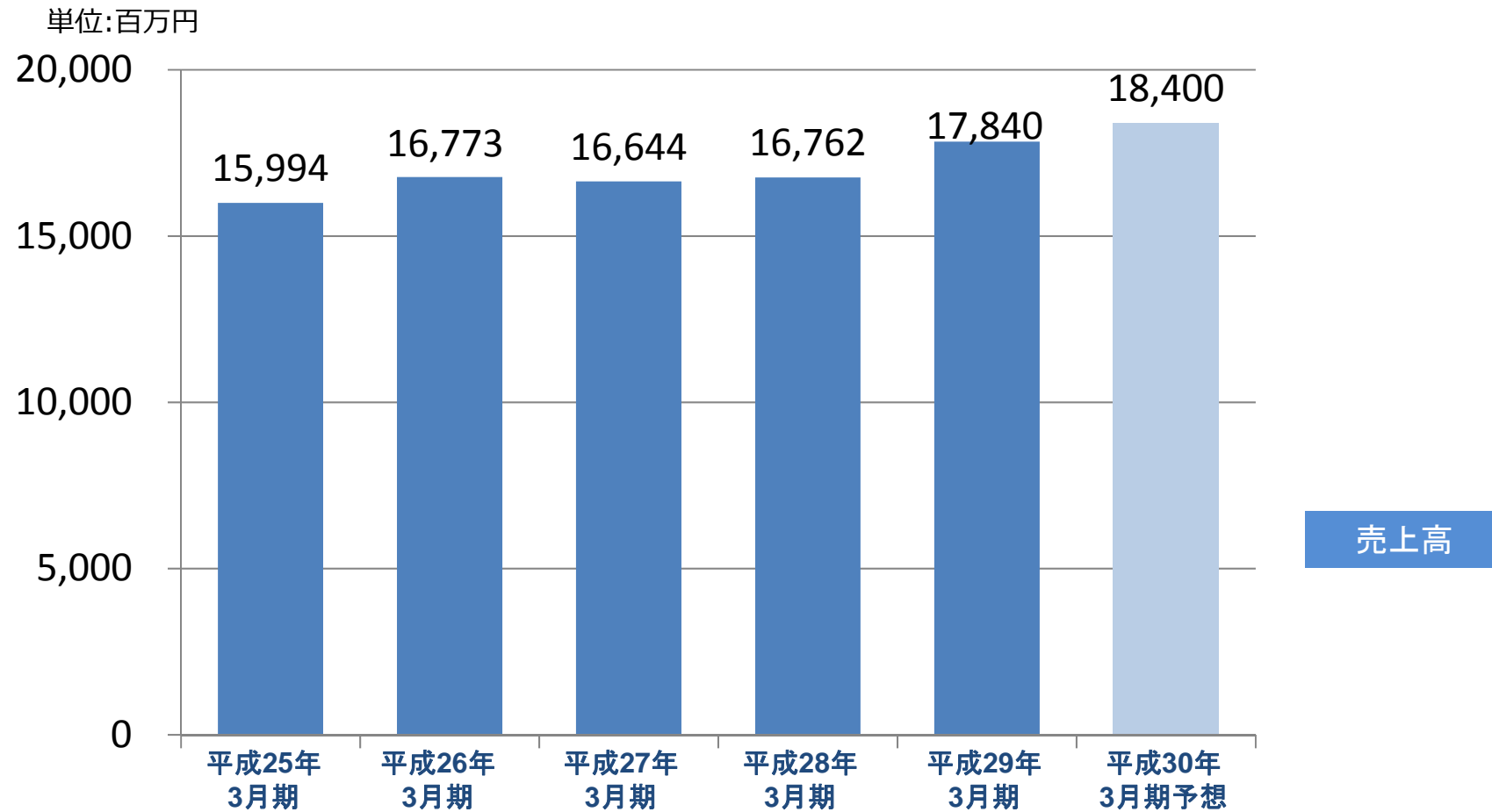
平成30年3月期 業績予想

平成30年3月期の業績予想

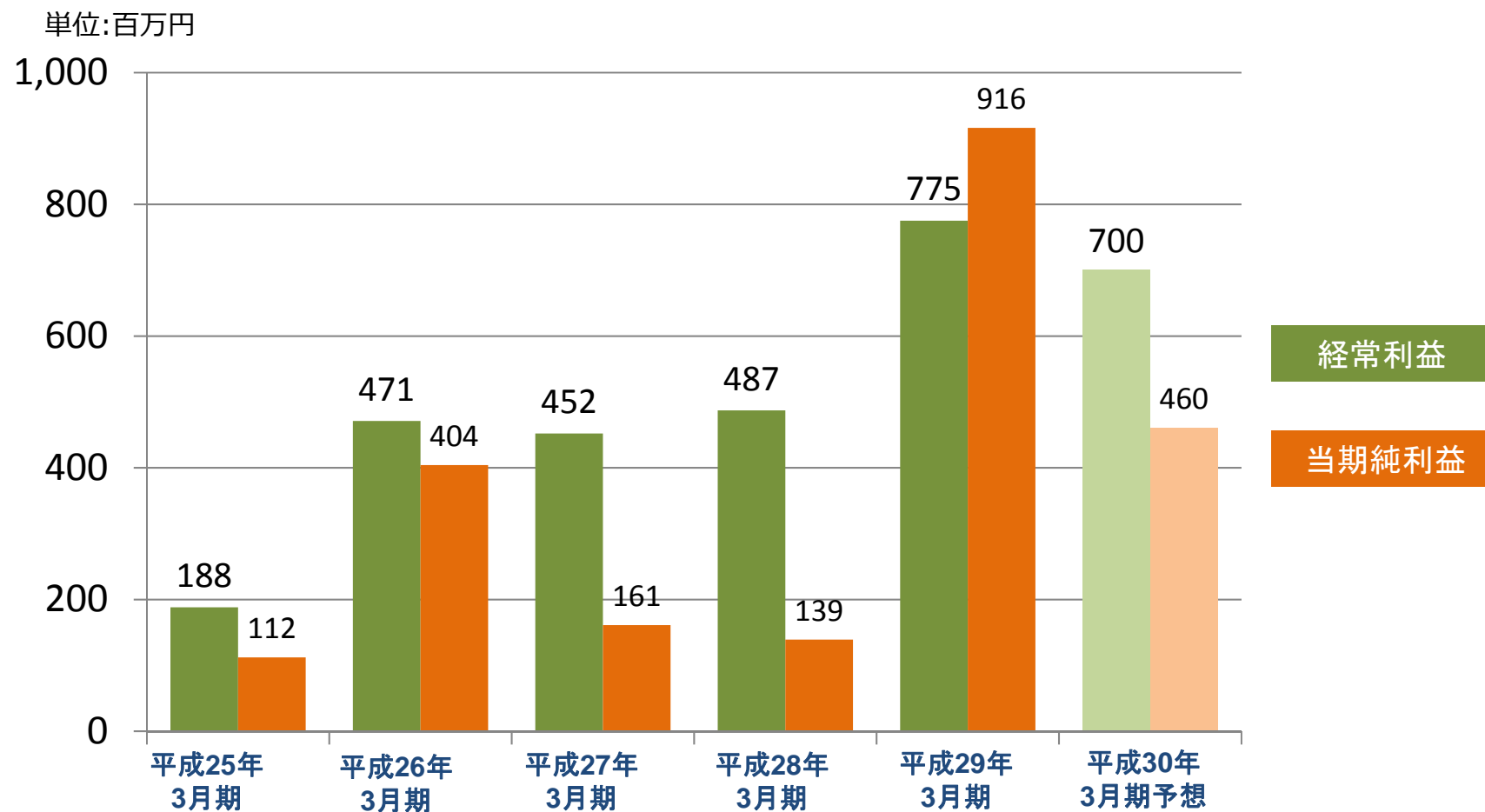
単位:百万円

	平成29年3月期	今期予想	前期比
売上高	17,840	18,400	103%
営業利益	767	700	91%
経常利益	773	700	91%
当期純利益	915	460	50%

売上の推移（予想）



利益の推移（予想）



事業区分別計画

空調事業

- ① 「省電力」「高効率」「排熱の高度利用」をキーワードに、機器単体のみでなく空調設備全体の省エネルギーを提案するソリューション営業活動の更なる強化に取り組んでまいります。
- ② 主力機種である吸収冷温水機「エフィシオ」については、平成27年4月の主要機種ラインアップ完了により、業界トップレベルの高性能・高効率を前面に、更なる拡販に努めてまいります。

ボイラ事業

- ① 大型貫流ボイラ「イフリート フェルサ」に続き、小型貫流ボイラ「WILLHEAT（ウィルヒート）」を業界最長となる15年の長期保証付きで平成28年10月に販売開始し、お客様の高効率・省エネルギーへの要望に幅広くお応えすることでこの市場でのシェアアップを図ってまいります。
- ② 「排熱の高度利用」を目指し、川崎重工グループのガスタービン・ガスエンジンを中心に、排熱ボイラ「RG」、「RF」を採用いただけるよう積極的に取り組んでまいります。

本資料に関する問い合わせ

「快適」をあなたの^{いま}現在と未来へ



企画室 経営管理部

TEL 077-563-1111

ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願いいたします。